



イオン北海道からみなさまへ

プラスチック使用量の削減に取り組んでいます

プラスチック製レジ袋の削減



バイオマス素材を使用した「マイバスケット」

エコバッグ・マイバスケットの売場

現在有料で販売しているプラスチック製食品レジ袋はすべて植物由来素材が配合されたバイオマスレジ袋へ、非食品売場はFSC認証紙を使用した紙袋へ切り替えを行っています。さらに、エコバッグのほか、清算後の詰め替えが不要なマイバスケットの売場を強化するなど買物袋持参運動も継続して推進していきます。

店頭での資源回収（食品トレー・ペットボトル等）



貴重な資源を捨てずに再資源化するために、店頭では食品トレー、ペットボトル、紙パック、アルミ缶の回収に取り組んでいます。一例として、食品トレーは、再度資源化して新しいトレー（エコトレー）に生まれ変わらせる「トレーtoトレー」の取り組みを(株)エフビコと連携して行っています。2024年度の回収量は約796万枚となりました。

ラベルレス飲料の取り扱い

トップバリュのラベルレス飲料などプラスチック削減につながる商品を販売しています。



1箱
2,000 ml
× 6本入り

※店舗によりお取り扱いのない場合がございます。
※順次、新しいロゴの商品に切り替わります。

エコバッグ・マイバスケットの利用を推進します

イオンは、2030年までの目標として、①使い捨てプラスチック使用量を2018年度比で半減②全てのPB商品で環境・社会に配慮した素材を使用③PB商品のPETボトルを100%再生又は植物由来素材へ転換の3つの「イオン プラスチック利用方針」を策定しています。当社はこれまでもプラスチック製レジ袋の「無料配布の終了」、「植物由来素材配合のバイオマス素材への切り替え」、

食品トレーなどの「資源回収・再商品化」を中心にプラスチック使用量の削減に取り組んでおり、2024年度の進捗は、2018年度対比で32.2%削減となりました。

当社は、今後もさらなる使い捨てプラスチック使用量の削減に取り組み、2018年度対比で2025年に35%削減、2030年までに50%の削減を目標に取り組んでまいります。

SDGsの取り組み



SDGs（持続可能な開発目標）とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標1、12、13、14、17の達成に貢献します。



イオン北海道株式会社

木を植えています
私たちはイオンです